

青森県報

第八百九十六号

令和七年
四月二日
(水曜日)

目次

告示

○障害福祉サービス事業者の指定……………(福祉課) ……1

○右 同……………(同) ……1

○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による指定自立支援医療機関の指定の辞退……………(同) ……1

公告

○農用地利用集積等促進計画の認可……………(構造政策課) ……2

○県営土地改良事業計画の変更の決定……………(農村整備課) ……2

○右 同……………(同) ……2

公安委員会

○地域交通安全活動推進委員の委嘱……………(交通企画課) ……3

告示

青森県告示第二百五十一号

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成十七年法律第百二十三号)第二十九条第一項の規定により、次のとおり障害福祉サービス事業を行う者を指定したので、同法第五十一条第一号の規定により公示する。

令和七年四月二日

青森県知事 宮下 宗一郎

指定障害福祉サービス事業者	名称	主たる事務所の所在地	障害福祉サービスの種類	障害福祉サービスを行う事業所	指定年月日
特定非営利活動法人あゆみの会	三戸郡階上町蒼前西六丁目九の二六〇五	生活介護	すまいるキッズ・ティー	三戸郡階上町蒼前西六丁目九の二六〇五	令和七年四月二日

青森県告示第二百五十二号

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成十七年法律第百二十三号)第二十九条第一項の規定により、次のとおり障害福祉サービス事業を行う者を指定したので、同法第五十一条第一号の規定により公示する。

令和七年四月二日

青森県知事 宮下 宗一郎

指定障害福祉サービス事業者	名称	主たる事務所の所在地	障害福祉サービスの種類	障害福祉サービスを行う事業所	指定年月日
特定非営利活動法人UGENM	五所川原市大字飯詰字石田二二九の一〇二	就労継続支援B型	就労継続支援B型事業	五所川原市中平井町一四四の二	令和七年四月二日

青森県告示第二百五十三号

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成十七年法律第百二十三号)第六十五条の規定により、次の指定自立支援医療機関(育成医療及び更

生医療)がその指定を辞退したため、同法第六十九条第三号の規定により公示する。

令和七年四月二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

名 称	所 在 地	指定辞退年月日
医療法人原子整形外科医院	弘前市大字代官町五九	令和六・三・三
弘前記念病院	弘前市大字境関字西田五九の一	七・三・三

公 告

農用地利用集積等促進計画の認可

農地中間管理事業の推進に関する法律(平成二十五年法律第百一号)第十八条第一項の規定により、農用地利用集積等促進計画を令和七年四月二日認可したので、同条第七項の規定により当該農用地利用集積等促進計画を次のとおり公告する。

令和七年四月二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

賃借権の設定等を受ける者	賃借権の設定等を受ける土地
氏名又は名称	住所又は所在地
木村 優吏	弘前市大字小友字宇田野五六〇の一ほか七筆
弘前市	

県営土地改良事業計画の変更の決定

土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第八十八条第一項の規定により、十三湖地区の県営土地改良事業(経営体育成基盤整備事業)計画を変更したので、同条

第六項において準用する同法第八十七条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画の変更については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が変更されたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として(知事が被告の代表者となる。)、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の変更の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならぬこととされている。

令和七年四月二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年四月三日から同月二十二日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業計画の変更の決定

土地改良法(昭和二十四年法律第百九十五号)第八十八条第一項の規定により、ふるさと新郷地区の県営土地改良事業(中山間地域総合整備事業(農業用排水施設整備))計画を変更したので、同条第六項において準用する同法第八十七条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画の変更については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が変更されたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として(知事が被告の代表者となる。)、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内

県営十三湖地区土地改良事業計画書

第4回変更

(経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業)

青 森 県

目

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地 形、土 壤 及 び 浸 食 の 程 度	3
2.	土 地 利 用 の 状 況	4
3.	土 地 所 有 の 状 況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	7
4.	想 定 被 害 状 況	7
第 4 節	道 路 現 況	9
1.	道 路 概 況	9
2.	主 要 道 路 一 覧 表	9
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	10
1.	産 業 別 就 業 人 口	10
2.	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 及 び 専 兼 業 別 農 家 数	10
3.	動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数	10
4.	主 要 作 物 作 付 状 況	11
5.	農 業 の 動 向	12
第 6 節	地 域 環 境 の 概 況	12
第 4 章	一 般 計 画	13
第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	13
1.	要 旨	13
2.	事 業 別 面 積	13

次

第 2 節	営 農 計 画 及 び 土 地 利 用 計 画	13
1.	営 農 計 画 の 概 要	13
2.	土 地 利 用 区 分	13
3.	作 付 方 式	14
4.	生 産 計 画	16
5.	労 働 改 善 計 画	18
第 3 節	用 水 計 画	19
1.	計 画 基 準 年	19
2.	計 画 かんがい方式	19
3.	計 画 用 水 系 統	19
4.	計 画 用 水 量	19
5.	水 源 計 画	21
第 4 節	排 水 計 画	22
1.	計 画 基 準 雨 量	22
2.	計 画 排 水 方 式	22
3.	計 画 排 水 系 統	22
4.	計 画 排 水 量	22
5.	排 水 対 策	23
6.	た ん 水 検 討	23
第 5 節	道 路 計 画	25
1.	道 路	25
2.	路 線 配 置 図	25
第 6 節	洪 水 調 節 計 画	26
1.	計 画 基 準 雨 量	26
2.	計 画 洪 水 量 及 び 調 節 量	26
3.	貯 水 池	26
4.	洪 水 調 節 検 討	26
5.	管 理 計 画	26
第 7 節	農 用 地 整 備 計 画	27
1.	区 画 整 理	27
2.	暗 渠 排 水	27

3.	客	土	28
4.	農	地	28
第 8 節	老朽ため池改修計画		28
1.	洪水吐改修計画		28
2.			28
3.	取水施設改修計画		28
第 5 章	主要工事計画		30
第 1 節	用水施設		30
1.	貯	水	30
2.	頭	首	30
3.	揚	水	30
4.	用	水	30
第 2 節	排水施設		30
1.	排	水	30
2.	排	水	30
3.	排	水	30
4.	その他排水施設		30
第 3 節	道	路	31
1.	道路の総括表		31
2.	道路主要構造物		31
第 4 節	洪水調節施設		31
1.	貯	水	31
2.	頭首工及び導水路		31
第 5 節	農用地整備施設		32
1.	区	画	32
2.	暗	渠	32
3.	客	土	32
4.	除	礫	32
5.	農	地	33
第 6 節	老朽ため池改修施設		33
1.	貯	水	33
2.	堤	体	33

第 6 章	附帯工事計画	33	
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	33	
第 8 章	環境との調和への配慮	33	
第 9 章	換地計画の概要	34	
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	34	
第 2 節	換地区の設定	34	
1.	換地区の名称・所在・面積	34	
2.	換地区を設定する理由	34	
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	34	
1.	従前の土地の地積の基準	34	
2.	用途別予定地積	35	
3.	農用地集団化の方針	35	
4.	非農用地換地の方法	35	
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	36	
1.	評	価	36
2.	清	算	36
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	36	
第 6 節	換地処分の特則に関する特則	36	
第 10 章	事業費の総額及び内訳	37	
第 11 章	効	用	37
第 12 章	関	連	38
第 13 章	現	況	38

第 1 章 目 的

本地区は五所川原市北部から中泊町中里地域北部に位置し、一級河川岩木川水系岩木川河口の十三湖付近に広がる水田地帯であり、十三湖土地改良区の受益となっている。

本地区の農用地は、国営十三湖干拓建設事業（昭和23～44年度）の十三湖干拓により開田され、その後、国営津軽北部農業水利事業（昭和57～平成9年度）などにより用排水施設の更新整備などが行われた。しかしながら、開田以降区画形状の変更はなく、用排水路のほとんどが土水路で排水不良田が多い状況にあるため、麦・大豆や飼料用米の作付けが難しいことに加え、大型機械の導入が進まず、生産性向上と担い手への農地集積加速化の支障となっている。

このため、本事業により、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備を実施し、担い手への農地集積と農業競争力の強化を図る。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
五所川原市、北津軽郡中泊町

第 2 節 地 積

(令和6年10月現在) (第2表)

現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
五所川原市	196.3	-	-	-	22.3	218.6	土地登記簿面積 ※その他は道水路及び雑種地
中 泊 町	971.9	-	-	-	169.0	1,140.9	土地登記簿面積 ※その他は道水路及び雑種地
計	1,168.2	-	-	-	191.3	1,359.5	

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(令和6年10月現在) (第3表-1)

観測所名	市浦地方観測所		かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成24年～令和3年		5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)	18.9		4.7	10.5		
降水量	平均 (mm)	549		851	1,400	
	基準年 (mm)	-		-	-	
降水日数	平均 (日)	48		118	166	
	基準年 (日)	-		-	-	
根 雪 期 間	12月15日～3月13日		89 日間		五所川原観測所	
無 霜 期 間	5月10日～10月13日		157 日間			
最 多 風 向	NW		最大風速 (風向)	13 m/s (ENE)	最多風向発生時期 1月～3月 最大風速発生年月日 平成28年8月30日	

2. 特殊気象

(令和6年10月現在) (第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
市浦地方観測所																
観測期間	昭和1年～令和3年															
最大日雨量 (mm)	303	S52.2.7	1/2,099	118	H14.8.11	1/11	117	H22.9.1	1/10	103	H29.8.24	1/6	100	H18.8.18	1/5	
最大時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	359	S52.2.6 ～S52.2.11	1/405	287	H14.8.7 ～H14.8.15	1/81	201	H25.8.27 ～H25.9.5	1/13	191	H22.8.31 ～H22.9.1	1/9	190	R3.12.11 ～R3.12.31	1/7	
最大連続干天日数 (日)	37	H23.7.9 ～H23.8.14	1/47	35	H12.5.23 ～H12.6.26	1/31	33	H25.5.31 ～H25.7.2	1/17	32	H18.7.17 ～H18.8.17	1/14	31	S59.5.10 ～S59.6.9	1/9	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高 (m)		備 考
	1/1,000 未満	1/1,000 ~ 1/100	1/100 ~ 1/20	1/20 ~ 1/11.5	1/11.5 ~ 以上	計	3° 未満	3° ~ 8°	8° ~ 15°	15° ~ 20°	20° 以上	計	最 高	最 低	
傾斜区分															
面積 (ha)	1,168.2	-	-	-	-	1,168.2	-	-	-	-	-	-	3.0	-1.0	
比率 (%)	100	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-			

(第4表-1-2)

項 目 土壌統 (区) 名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表							面 積 (ha)	備 考
	土 壤 断 面								
	色	腐 植	礫 層	土 性			泥炭層黒泥層及 びグライ層		
				表 土	下 層 土				
一 層				二 層	三 層				
泥炭土壌全層泥炭型	10YR3/4・表土 2.5Y3/2・下層土	富む・表土 富む・下層土	なし	LiC	LiC	P	作土直下グライ層 54cm以下泥炭層	216.8	水田 A1
泥炭土壌強粘土型	2.5Y2/2・表土 10YR4/6・下層土	富む・表土 なし・下層土	なし	LiC	P	LCOS	作土直下グライ層 及び泥炭層	476.5	水田 A2
強グライ土壌強粘土還元型	2.5Y3/4・表土 7.5Y3/1・下層土	すこぶる富む・表土 すこぶる富む・下層土	なし	HC	HC	HC	作土直下グライ層 21cm以下泥炭層	66.2	水田 D30
強グライ土壌砂土還元型	10YR2/1・表土 2.5Y3/4・下層土	すこぶる富む・表土 すこぶる富む・下層土	砂層	LiC	HC	LCOS	作土直下グライ層	152.5	水田 D36
グライ土壌砂土型	10YR4/6・表土 10YR4/4・下層土	なし・表土 なし・下層土	砂層	LCOS	LCOS	S	32cm以下グライ層	256.2	水田 E44
計								1,168.2	

2. 土地利用の状況

(令和6年10月現在) (第4表-2)

土地利用別 市町村名	耕地							原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	水田 (ha)	畑					小計 (ha)					
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
五所川原市	196.3	-	-	-	-	-	-	-	-	22.3	218.6	土地登記簿面積 その他は道水路
中泊町	971.9	-	-	-	-	-	-	-	-	169.0	1,140.9	土地登記簿面積 その他は道水路及び非農用地
計	1,168.2	-	-	-	-	-	-	-	-	191.3	1,359.5	

3. 土地所有の状況

(令和6年10月現在) (第4表-3)

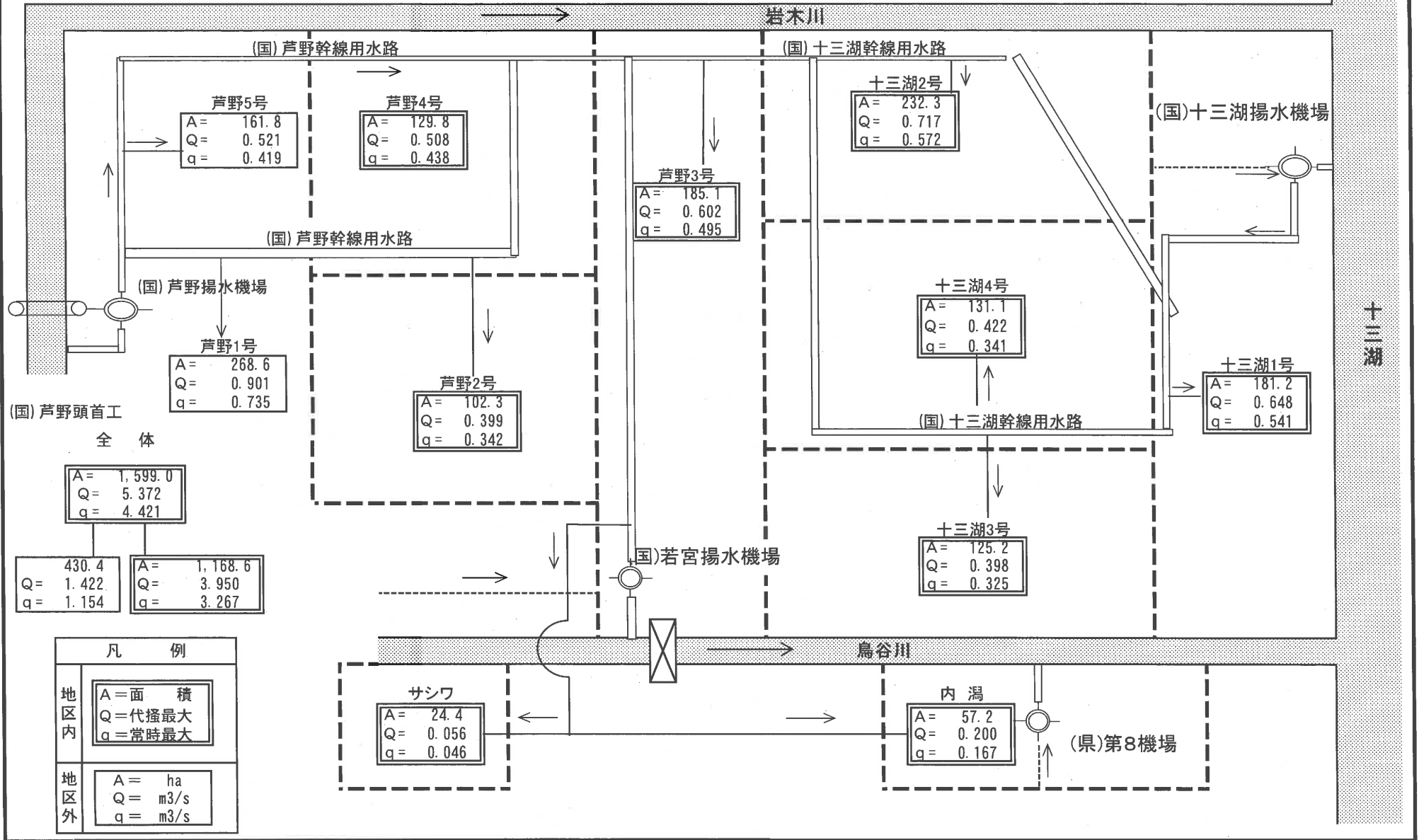
区分	所有別	個人有	法人有	共有	国有	県有	市町村有	土地改良区有	計	備考
面積	(ha)	1,134.1	31.6	2.3	7.2	0.2	80.7	103.4	1,359.5	
受益者数	(人)	912	8	-	-	-	-	-	920	()の数は、個人所有と重複する受益者数である。
筆数	(筆)	4,826	109	13	38	11	675	1,252	6,924	

第3節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水は、岩木川に設置された芦野頭首工より取水されている。また、地区内の排水の一部は、十三湖機場と若宮機場により用水として反復利用されている。

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項目 施設名	かんがい面積						計	水利権		慣行水利権		延べ取水量 m ³ /s	備考	
	500ha 以上		500~100ha		100ha 未満			箇所	ha	箇所	m ³ /s			
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
貯水池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
井堰	11	1,168.2 (1,599.0)	-	-	-	-	11	1,168.2 (1,599.0)	6	1.509 (2.987)	5	2.385 (2.385)	3.894 (5.372)	
自然取水口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	11	1,168.2 (1,599.0)	-	-	-	-								() は地区外含む

(イ) 改修を要する施設一覧表 該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(イ) その他の被害状況 該当なし

2. 排水状況

本地区の排水は、十三湖機場と若宮機場により、岩木川（十三湖）と一級河川岩木川水系鳥谷川へそれぞれ機械排水されている。

(1) 排水系統

現況排水系統模式図（P.8 参照）

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

施設名		項目		排水面積				計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
				500ha 以上		500 ~100ha		100ha 未満				
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
自然	排水路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	水門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
機械	排水機	—	—	7	1,109.5 (1,530.4)	2	58.5 (68.6)	9	1,168.2 (1,599.0)	35.060	124.400	
	水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		—	—	7	1,109.5 (1,530.4)	2	58.5 (68.6)	9	1,168.2 (1,599.0)	35.060	124.400	()は 地区外含む

(イ) 改修を要する施設の一覧表

該当なし

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

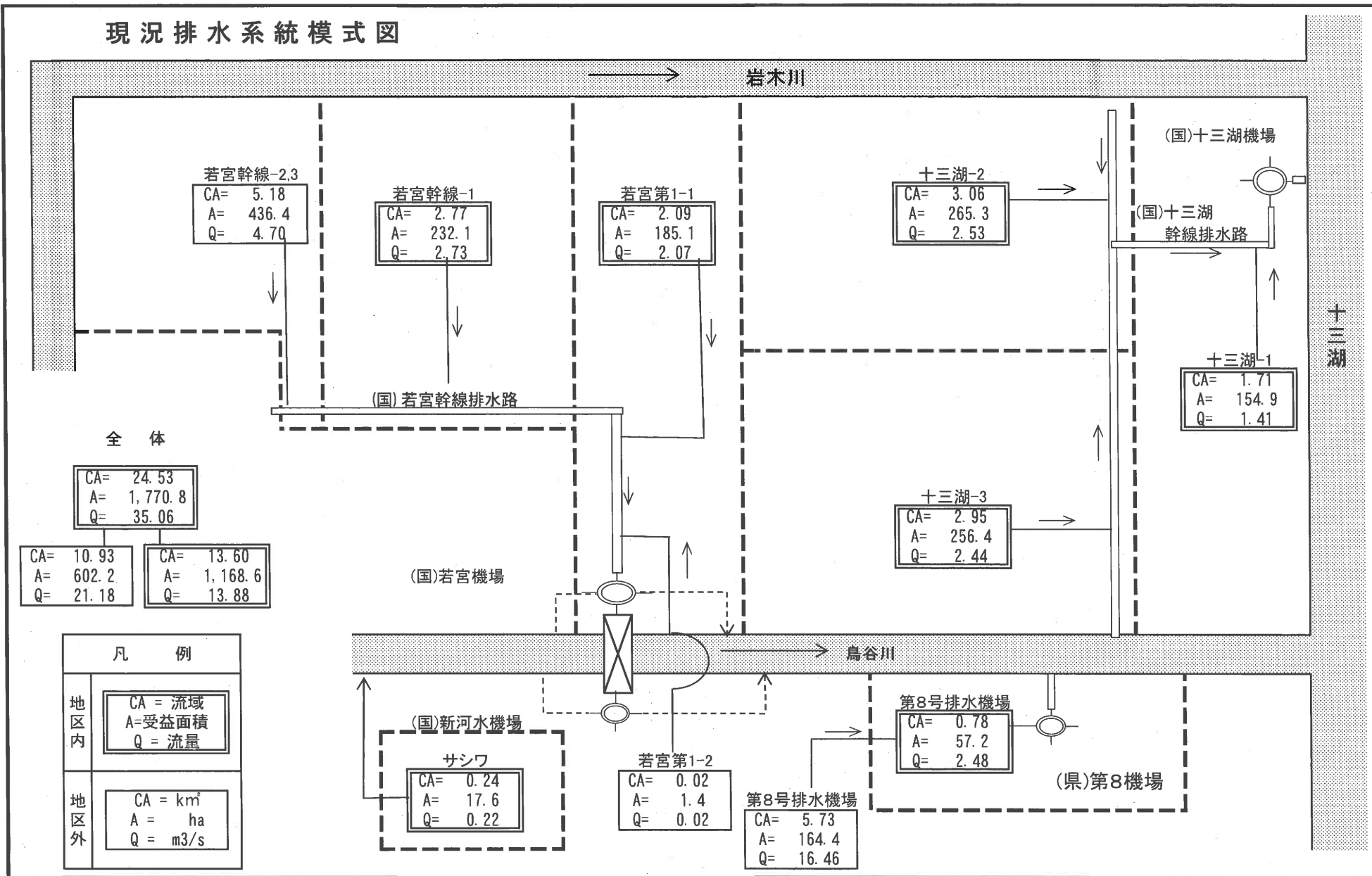
(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

4. 想定被害状況

該当なし

現況排水系統模式図



第 4 節 道路現況

1. 道路概況



2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路線名	管理	延長	幅員 (m)	構造	改修の	備考
①	富 范 薄 市 線	県	5,700	8.0	6.5	アスファルト舗装	否
②	中 里 広 域 農 道	県	8,979	8.0	6.5	アスファルト舗装	否

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

平成22年度国勢調査 (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス熱供給水道業 (人)	運輸通信業 (人)	卸売小売業飲食店 (人)	金融保険業 (人)	不動産業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
五所川原市	25,832	3,607	62	164	17	2,822	2,392	102	959	4,339	469	219	9,263	1,150	267	
中泊町	5,206	1,058	41	290	1	964	468	10	194	575	72	10	1,322	199	2	
計	31,038	4,665	103	454	18	3,786	2,860	112	1,153	4,914	541	229	10,585	1,349	269	
比率 (%)	100.0%	15.0%	0.3%	1.5%	0.1%	12.2%	9.2%	0.4%	3.7%	15.8%	1.7%	0.7%	34.1%	4.4%	0.9%	

2. 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数

2010年世界農林業センサス (第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						専兼業別農家数(戸)			備考
		例外規定の適用を受けるもの	経営耕地広狭別農家数 (戸)										田	畑	樹園地	小計	草地	計	専業	兼業		
			0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	第一種								第二種		
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	ha以上	自給的農家										
五所川原市	2,912	6	165	461	372	293	409	354	238	94	20	500	2.42	0.09	0.27	2.78	0.18	2.96	861	569	982	販売農家 2,412戸
中泊町	1,031	3	57	115	121	105	174	161	114	35	6	140	2.95	0.10	0.01	3.06	0.12	3.18	184	244	463	販売農家 891戸
計	3,943	9	222	576	493	398	583	515	352	129	26	640	5.37	0.19	0.28	5.84	0.30	6.14	1,045	813	1,445	
比率 (%)	100.0%	0.2%	5.6%	14.6%	12.5%	10.1%	14.8%	13.1%	8.9%	3.3%	0.7%	16.2%	87.5%	3.1%	4.6%	95.1%	4.9%	100.0%	31.6%	24.6%	43.7%	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

2010年世界農林業センサス (第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜						備考
	トラクター		コンバイン		動力田植機		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
五所川原市	2,118	1,717	961	910	1,453	1,424	0	0	457	19	1,062	3	
中泊町	896	743	394	381	651	638	0	2	104	5	0	1	
計	3,014	2,460	1,355	1,291	2,104	2,062	0	2	561	24	1,062	4	
100戸当たり数量(台、頭)	76		34		53		0		14		27		
利用個数割合 (%)	62.4		32.7		52.3		0.1		0.6		0.1		

4. 主要作物作付状況

第60次青森農林水産統計年報

(第7表-4)

市 町 村 名			五 所 川 原 市		中 泊 町		計	平 均	作 付 率	備 考	
総 耕 地 面 積 (ha)			9,680		3,800		13,480				
総 本 地 面 積 (ha)			9,400		3,680		13,080				
区 分			作 付 面 積 (ha)	単 位 面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	単 位 面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	単 位 面 積 当 たり 収 量 (kg/10a)	(%)		
作 物 名											
水田	表作	水 稻	5,190	652	2,390	663	7,580	658	73.2	本地面積全体 13,080 ha	
	裏作		-	-	-	-	-	-	-		
畑	春	小 麦	333	155	81	51	414	103	15.2	田 (五所川原市) 7,100 ha (中泊町) 3,260 ha	
		大 豆	501	145	306	131	807	138	29.7		
		そ ば	54	33	-	-	54	17	2.0		
		春植えばれいしょ	35	563	5	37	40	300	1.5		
		夏 秋トマト	33	2,050	13	593	46	1,322	1.7		
	夏			-	-	-	-	-	-	-	畑 (五所川原市) 2,300 ha (中泊町) 420 ha (畑の中に、樹園地及び牧草地を含む)
				-	-	-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-	-	-	
秋冬作			-	-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-	-		
小 計			956		405		1,361		50.1		
果樹園	その他果樹		-	-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-	-		
	小計		-	-	-	-	-	-	-	-	
計			6,146		2,795		8,941		68.4		
市町村別延作付率 (%)			65.4		76.0		68.4				

5. 農業の動向

H13・H18・H23農産物統計、2010年世界農林業センサス (第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変 化 の 状 況 (C年を100とする指数)	総農家数	84	111	耕地	92	136	水 稻	153	144	乳用牛	-	-	トラクター	80	92	農業振興地域 昭和47年(五所川原市) 昭和46年(中泊町) 野菜指定産地 平成4年(五所川原市) 平成4年(中泊町) 夏秋トマト 平成11年(五所川原市) 平成11年(中泊町) ばれいしょ 豪雪指定 昭和38年(五所川原市) 昭和38年(中泊町) 高能率生産団地 昭和55年(五所川原市) 昭和55年(中泊町)	A:平成22年 B:平成17年 C:平成12年
		79	73			86		86			110	105			-		
	専業農家数	116	215	田	95	140	小 麦	130	135	肉用牛	110	461	コンバイン	126	93		
		105	156			85		85			3,750	7,550			79		
	第一種兼業農家数	79	68	畑	79	216	大 豆	464	646	豚	-	-	動力田植機	111	106		
	102	72			85	82			80		80			-	-		94
第二種兼業農家数	73	82	樹園地	92	88	小 豆	550	-				乗用型スピードスプレヤー	339	-			
	65	54			33		100						18	-			
農業従事者数	36	47	草地	49	179	そ ば	67	43									
	23	28			124		121									11	-
変 化 の 理 由	農業従事者の減少は他産業への流出による。						水田輪作体系の中で、小麦、大豆が増加している。						農作業の効率向上を図るため機械の大型化及び共同利用が進んでいる。				

上段:五所川原市

下段:中泊町

第 6 節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

ほ場の大区画化、農業用排水路、農道等の農業生産基盤整備を行うことにより、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の導入を図り、これと併せて農地利用集積を促進する。

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。また、水路内にワンドと小動物脱出スロープ（間伐材使用）を設置するなど、生態系の保全・再生を図る。

2. 事業別面積

(第 8 表)

土地利用区分 事業目的	水田 (ha)	畑					計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草畑 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)		
区画整理	1,154.2	0.4	—	—	—	—	1,154.6	
暗渠排水	(1,154.2)	—	—	—	—	—	(1,154.2)	()は区画整理と重複で内数
客 土	(192.9)	—	—	—	—	—	(192.9)	()は区画整理と重複で内数
計	1,154.2	0.4	—	—	—	—	1,154.6	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業によるほ場の大区画化や用排水路整備等の農業生産基盤整備と併せ、担い手農家の経営規模拡大に取り組むことで、効率的で生産性の高い水田農業の展開を図る。

2. 土地利用区分

(第 9 表-1)

土地利用	水田	畑					小 計	原野	山林	その他	計	備 考
現 況	1,168.0	—	—	—	—	—	1,168.0	—	—	191.5	1,359.5	その他：道水路及び雑種地
計 画	1,154.2	0.4	—	—	—	—	1,154.6	—	—	204.9	1,359.5	

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			現 況	水稲	田	← 水稲 →												← 水稲 →												← 水稲 →									
← 加工用米 →												← 加工用米 →												← 加工用米 →															
← 飼料用米 →												← 飼料用米 →												← 飼料用米 →															
← 小麦 →												← 小麦 →												← 小麦 →															
← 大豆 →												← 大豆 →												← 大豆 →															
← 牧草 →												← 牧草 →												← 牧草 →															
野菜	畑	← そば →												← そば →												← そば →													
		← トルコギキョウ →												← トルコギキョウ →												← トルコギキョウ →													
		← トマト →												← トマト →												← トマト →													
		← にんにく →												← にんにく →												← にんにく →													
		← ねぎ →												← ねぎ →												← ねぎ →													
		← ブロッコリー →												← ブロッコリー →												← ブロッコリー →													

(第9表-2)

項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			計 + 画	水稲 田 + 野菜	田	水稲												水稲												水稲									
加工用米												加工用米												加工用米															
飼料用米												飼料用米												飼料用米															
小麦												小麦												小麦															
大豆												大豆												大豆															
牧草												牧草												牧草															
そば												そば												そば															
トルコギキョウ												トルコギキョウ												トルコギキョウ															
トマト												トマト												トマト															
にんにく												にんにく												にんにく															
ねぎ												ねぎ												ねぎ															
ブロッコリー												ブロッコリー												ブロッコリー															
自己保全管理												自己保全管理												自己保全管理															
畑												畑												畑															
ねぎ												ねぎ												ねぎ															

4. 生産計画

(第9表-3)

土地 利用 区分	項目	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり 収量増加	
水 田	表作	水 稻	703.7	660.4	△43.3	63.5%	59.5%	632	632	-	4,447	4,174	△273	△273	-	作付増減
			-	(513.1)	-	-	-	632	670	38	3,243	3,438	195	-	195	乾田化Ⅰ
			-	(147.3)	-	-	-	632	651	19	931	959	28	-	28	乾田化Ⅱ
			-	(660.4)	-	-	-	632	645	13	4,174	4,260	86	-	86	水管理改良
		-	(336.2)	-	-	-	632	664	32	2,125	2,232	107	-	107	土層改良	
		加工用米	76.0	102.7	26.7	6.9%	9.2%	632	632	-	480	649	169	169	-	作付増減
			-	(59.1)	-	-	-	632	670	38	374	396	22	-	22	乾田化Ⅰ
			-	(16.9)	-	-	-	632	651	19	107	110	3	-	3	乾田化Ⅱ
			-	(76.0)	-	-	-	632	645	13	480	490	10	-	10	水管理改良
		-	(38.6)	-	-	-	632	664	32	244	256	12	-	12	土層改良	
		飼料用米	29.7	40.0	10.3	2.7%	3.6%	632	632	-	188	253	65	65	-	作付増減
			-	(23.1)	-	-	-	632	670	38	146	155	9	-	9	乾田化Ⅰ
			-	(6.6)	-	-	-	632	651	19	42	43	1	-	1	乾田化Ⅱ
			-	(29.7)	-	-	-	632	645	13	188	192	4	-	4	水管理改良
		-	(15.2)	-	-	-	632	664	32	96	101	5	-	5	土層改良	
		小 麦	70.4	76.8	6.4	6.4%	6.9%	156	156	-	110	120	10	10	-	作付増減
			-	(54.7)	-	-	-	156	209	53	85	114	29	-	29	乾田化Ⅰ
			-	(15.7)	-	-	-	156	209	53	24	33	9	-	9	乾田化Ⅱ
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	土層改良
		大 豆	123.6	147.2	23.6	11.2%	13.3%	144	144	-	178	212	34	34	-	作付増減
			-	(96.0)	-	-	-	144	190	46	138	182	44	-	44	乾田化Ⅰ
			-	(27.6)	-	-	-	144	190	46	40	52	12	-	12	乾田化Ⅱ
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	土層改良
		牧 草	18.1	18.1	-	1.6%	1.6%	3,064	3,064	-	555	555	-	0	-	作付増減
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	湿害防止
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	土層改良
		そ ば	8.8	(7.5)	△1.3	0.8%	0.7%	27	27	-	2	2	-	0	-	作付増減
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	湿害防止
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	土層改良
		トルコギキョウ	2.0	2.0	-	0.2%	0.2%	16,125	16,125	-	323	323	-	0	-	作付増減
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	湿害防止
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	土層改良
		ト マ ト	22.5	27.0	4.5	2.0%	2.4%	5,701	5,701	-	1,283	1,539	256	256	-	作付増減
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	湿害防止
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	土層改良
		にんにく	3.9	3.9	-	0.4%	0.4%	1,001	1,001	-	39	39	-	0	-	作付増減
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	湿害防止
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	土層改良

水田	表作	ねぎ	8.8	11.1	2.3	0.7%	1.0%	2,548	2,548	-	224	283	59	59	-	作付増減	
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	湿害防止
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	土層改良
		ブロココリー	7.8	7.8	-	0.7%	0.7%	616	616	-	48	48	-	0	-	-	作付増減
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	湿害防止
			-	(0.0)	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	土層改良
自己保全管理	32.8	5.7	△27.1	2.9%	0.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	作付増減		
裏作	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
普通畑	春夏作	ねぎ	0.1	0.1	-	0.0%	0.0%	-	-	-	0	0	-	0	-	作付増減	
			-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	湿害防止	
果樹園	秋冬作	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
牧草地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茶園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計			1,108.2	1,110.3	2.1	100.0%	100.0%									面積は本地面積	

5. 労働改善計画

(第9表-4)

項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備考
			区分	現況	計画	増減	
水田	水稲	62.5	人力	29	14	△15	未整備 → 組織営農 湿田 (集積 乾田)
			機械力	8	4	△4	
	水稲	456.3	人力	29	17	△12	未整備 → 担い手営農 湿田 (集積 乾田)
			機械力	8	5	△3	
	水稲	141.6	人力	29	19	△10	未整備 → 個人営農 湿田 (乾田)
			機械力	8	6	△2	
	計	660.4					
	加工用米	7.2	人力	29	14	△15	未整備 → 組織営農 湿田 (集積 乾田)
			機械力	8	4	△4	
	加工用米	52.5	人力	29	17	△12	未整備 → 担い手営農 湿田 (集積 乾田)
			機械力	8	5	△3	
	加工用米	16.3	人力	29	19	△10	未整備 → 個人営農 湿田 (乾田)
			機械力	8	6	△2	
	計	76.0					
	飼料用米	2.8	人力	29	14	△15	未整備 → 組織営農 湿田 (集積 乾田)
			機械力	8	4	△4	
	飼料用米	20.5	人力	29	17	△12	未整備 → 担い手営農 湿田 (集積 乾田)
			機械力	8	5	△3	
	飼料用米	6.4	人力	29	19	△10	未整備 → 個人営農 湿田 (乾田)
			機械力	8	6	△2	
	計	29.7					
	小麦	70.4	人力	7	5	△2	営農規模 → 営農規模 3.0ha → 20.0ha
			機械力	3	2	△1	
	計	70.4					
	大豆	123.6	人力	7	4	△3	営農規模 → 営農規模 1.5ha → 20.0ha
			機械力	2	2	-	
計	123.6						
トマト	22.5	人力	794	697	△97	営農規模 → 営農規模 0.3ha → 0.5ha	
		機械力	4	11	7		
計	22.5						
にんにく	3.9	人力	200	115	△85	営農規模 → 営農規模 0.5ha → 0.7ha	
		機械力	19	26	7		
計	3.9						
ねぎ	8.8	人力	187	178	△9	営農規模 → 営農規模 0.3ha → 1.0ha	
		機械力	102	93	△9		
計	8.8						
ブロッコリー	7.8	人力	47	42	△5	営農規模 → 営農規模 0.3ha → 1.0ha	
		機械力	11	6	△5		
計	7.8						
合 計		1,003.1				面積は本地面積	

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年

昭和48年 (津軽ダム(特定多目的ダム)の利水基準と同様)

2. 計画かんがい方式

水田 水稻 たん水かんがい方式 かんがい期間 5月1日 ~ 8月31日 (代かき期間 5月1日 ~ 5月15日)

畑作物 うね間かんがい方式 かんがい期間 5月1日 ~ 8月31日

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図 (P. 20 参照)

4. 計画用水量

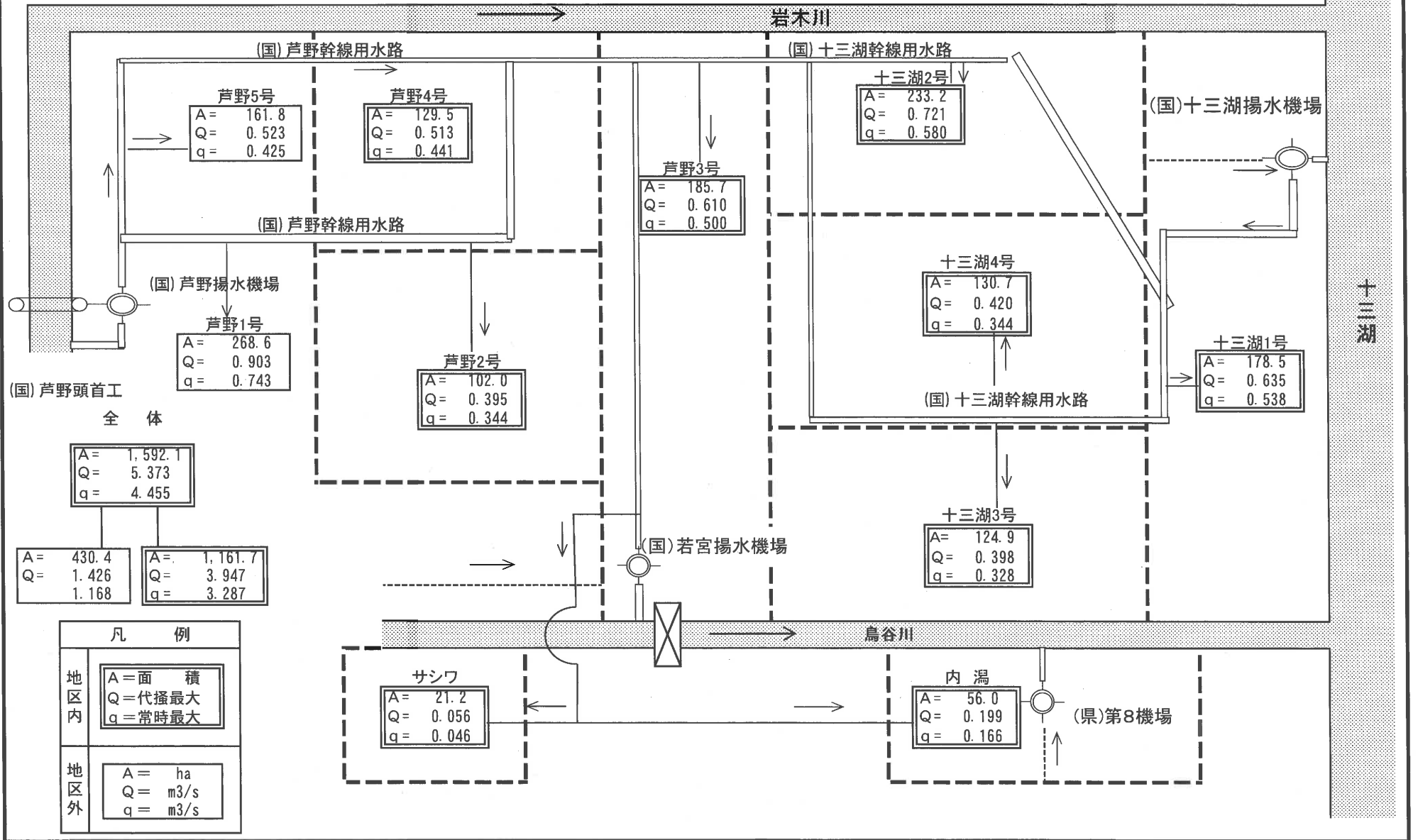
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種 別	面 積 (ha)	水田かんがい		面 積 (ha)	水田畑利用			畑地かんがい			その他		消 費 水 量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考	
			普通期	代かき期		面	一 日 平 均 か ん 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面	一 日 平 均 か ん 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面	計 画 平 均 水 量 (mm/日)			積 積 (ha)	平 均 大		最 大
			計 画 平 均 水 量 (mm/日)	計 画 代 か き 水 量 (mm/日)															
芦野	農業用水	417.2	19.3	120	417.2	5	5	—	5	5	—	—	—	代 普 1.290 1.092	15	1.285	1.518	地区内のみ	
十三湖	農業用水	681.4	19.3	120	681.4	5	5	—	5	5	—	—	—	代 普 1.848 1.522	15	1.790	2.174	地区内のみ	
内潟	農業用水	56.0	19.3	120	56.0	5	5	0.1	5	5	—	—	—	代 普 0.169 0.141	15	0.166	0.199	地区内のみ	
計		1,154.6			1,154.6			0.1			—	—							

(2) 営農飲雑用水 該当なし

計画用水系統模式図



5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千m ³)	有効雨量 b (千m ³)	純用水量 c=a-b (千m ³)	粗用水量 d=c/(1-α) (千m ³)	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水 量		
						e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		
既水田補水	11,891	-	11,891	13,989	芦野	13,989	11,891	-	-	-	-	既設用水路	α=15%
	16,399	-	16,399	19,293	十三湖	19,293	16,399	-	-	-	-	既設用水路	α=15%
	1,528	-	1,528	1,798	内潟	1,798	1,528	-	-	-	-	既設用水路	α=15%
計	29,818	-	29,818	35,080		35,080	29,818	-	-		-		

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取水口 該当なし

(ウ) 揚水機 該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

名称	項目 かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	備考
支線用水路	2.3~15.9	0.748	2,244	コンクリート直壁型	
小用水路	(0.1~24.1)	(0.879)	131,956	コンクリート直壁型	かんがい面積及び最大通水量は支線用水路に含まれる
計	1,154.6		134,200		

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 日雨量 96.4mm (1/10)
- 2. 計画排水方式 排水方式：機械排水 許容湛水：5 cm以上4時間以内
- 3. 計画排水系統 計画排水系統模式図 (P. 24 参照)
- 4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)	流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
		山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
										自然排水	機械排水			
若宮幹線-1	231.5	-	2.766	137.3	-	0.987	-	-	-	-	2.730	-	0.987	
若宮幹線-2,3	-	-	5.178	137.3	-	0.908	-	-	-	-	4.700	-	0.908	
若宮第1-1	185.7	-	2.087	137.3	-	0.992	-	-	-	-	2.070	-	0.992	
若宮第1-2	-	-	0.020	137.3	-	1.000	-	-	-	-	0.020	-	1.000	
十三湖-1	152.6	-	1.708	137.3	-	0.826	-	-	-	-	1.410	-	0.826	
十三湖-2	243.2	-	3.065	137.3	-	0.825	-	-	-	-	2.530	-	0.825	
十三湖-3	264.5	-	2.953	137.3	-	0.826	-	-	-	-	2.440	-	0.826	
8号排水機場	56.0	-	6.513	172.0	-	2.908	-	-	-	-	18.940	-	2.908	
サシワ	21.1	-	0.244	172.0	-	0.902	-	-	-	-	0.220	-	0.902	
計	1,154.6	-	24.534						-	-	35.060			

5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

(3) 排水路

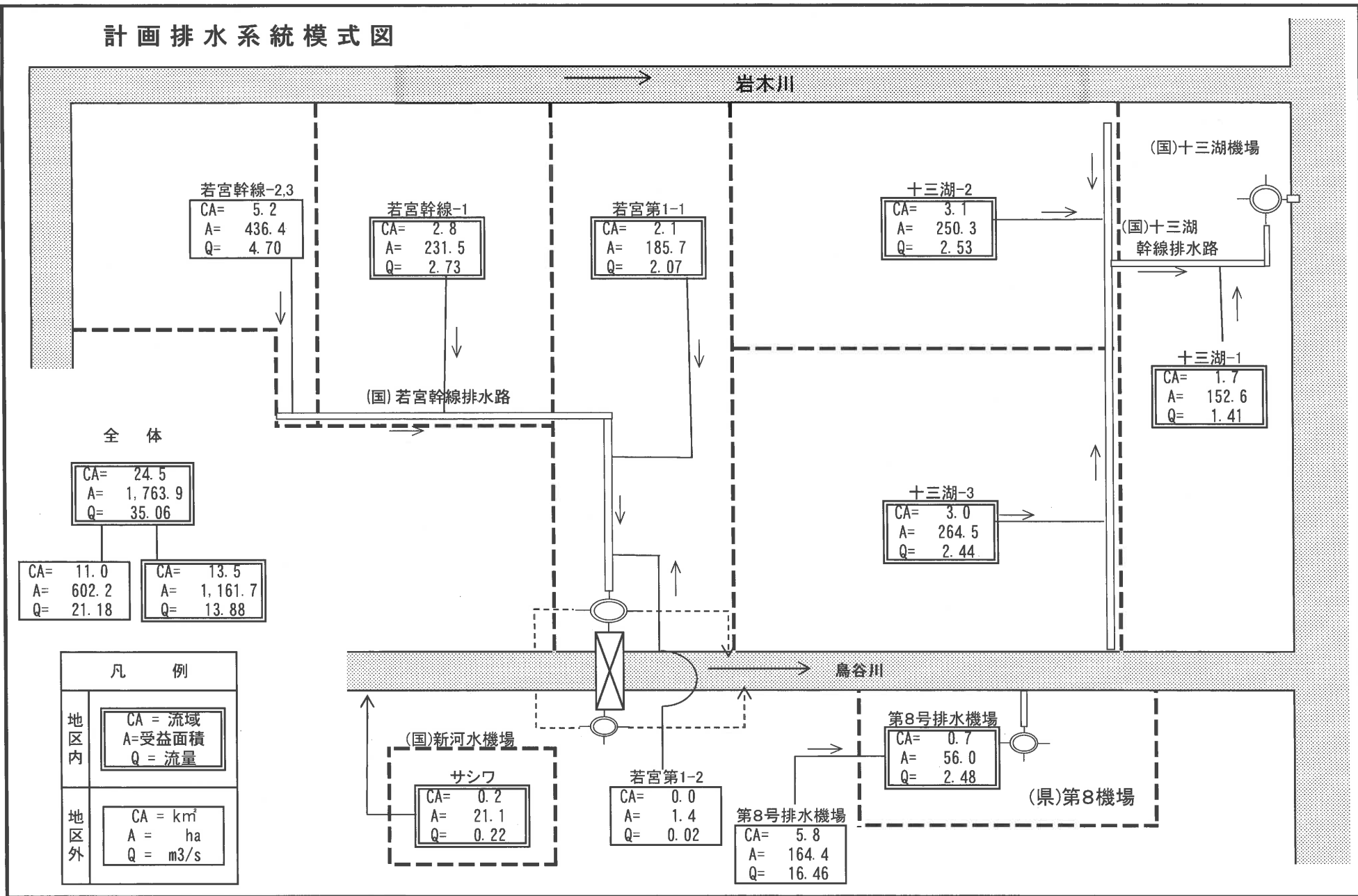
(第11表-4)

項目	流域面積	受益面積	計画排水量	延長	構造	排水本川		備考	
幹線排水路	0.240~	2.4~236.5	0.023~2.313	12,002	コンクリート直壁型	岩木川(十三湖)	3,900	1.75	
	23.650					鳥谷川	38	2.75	
支線排水路	0.140~	1.4~187.9	0.013~1.805	14,550	コンクリート直壁型	岩木川(十三湖)	3,900	1.75	
	18.790					鳥谷川	38	2.75	
小排水路	0.020~	0.2~63.4	0.002~0.595	61,648	コンクリート直壁型	岩木川(十三湖)	3,900	1.75	
	6.340					鳥谷川	38	2.75	
計		1,154.6		88,200					

(4) その他 該当なし

6. たん水検討 該当なし

計画排水系統模式図



第 5 節 道路計画

1. 道 路

(第12表)

項 目 路線名	幅 (有効) (m)	延 長 (m)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考
支道 I 型	5.0 (4.0)	127,972	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)		
支道 II 型	4.0 (3.0)	8,028	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)		
計		136,000			

2. 路線配置図



第 6 節 洪水調節計画

- | | |
|------------------------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画洪水量及び調節量 | 該当なし |
| 3. 貯水池 | 該当なし |
| 4. 洪水調節検討 | |
| (1) 河川改修計画との関係 | 該当なし |
| (2) 洪水調整が下流に及ぼす影響 | 該当なし |
| (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討 | 該当なし |
| 5. 管理計画 | |
| (1) 管理機構 | 該当なし |
| (2) ダム管理操作上の各種基準 | 該当なし |
| (3) 洪水調節要領 | 該当なし |

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第14表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
標準区 100×100	100 以上	544.7	47.2	1.0 以下	若宮工区以外
標準区 200×60	120 以上	212.6	18.4	1.0 以下	若宮工区
標準区以下	30 以上～100 未満	395.0	34.2	1.0 以下	
標準区以下	30 未満	2.3	0.2	1.0 以下	
計		1,154.6	100		

(2) 表土扱い

(第14表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備 考
1,154.6	本地区は表土が少なく、表土扱いをしない整地工事では、作物生産に支障を来たすため、表土扱いを行う。	15	1,731,900	

(3) 末端道水路配置図

末端道水路配置図 (P.25 参照)

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第14表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地 下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水方法	備 考
本暗渠	207.3	泥炭土壌全層泥炭型	50	5.79	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
本暗渠	473.0	泥炭土壌強粘土型	50	5.79	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
本暗渠	66.2	強グライ土壌強粘土還元型	50	5.79	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
本暗渠	151.7	強グライ土壌砂土還元型	50	5.79	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
本暗渠	256.0	グライ土壌砂土型	50	5.79	0.60	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日
計	1,154.2						

(2) 心土破碎

該当なし

3. 客土

(第14表-4)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	減水深(mm/day)		作土の厚さ(cm)		10a当たり 客土量(m ³)	土壌の性質		備考
			現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地	採土地 (客土材料)	
浅耕土対策	192.9	泥炭土壌強粘土型	120	120	20	25	50	粘質土	砂質土	

4. 農地保全

- (1) 防災林 該当なし
- (2) 排水工 該当なし
- (3) 浸食(崩壊)防止工 該当なし

第8節 老朽ため池改修計画

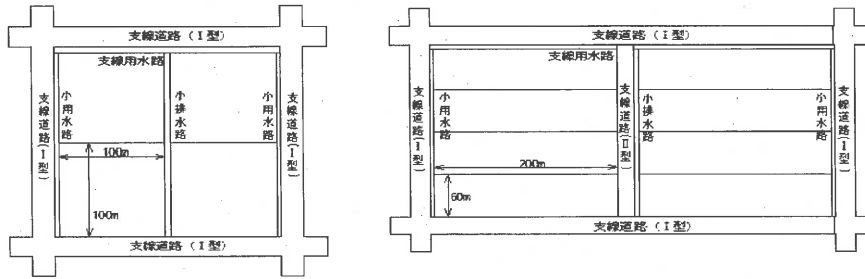
1. 洪水吐改修計画

- (1) 計画基準雨量 該当なし
- (2) 計画洪水量 該当なし

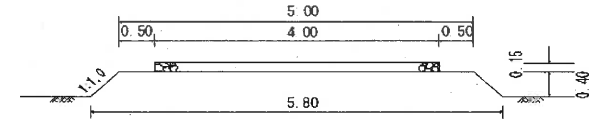
2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

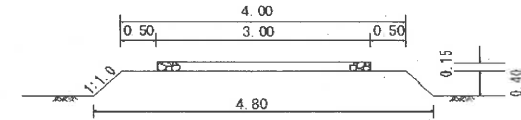
標準区画割図



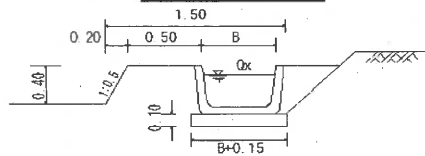
支線道路 (I型)



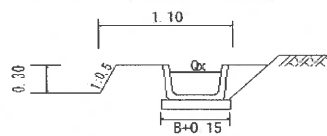
支線道路 (II型)



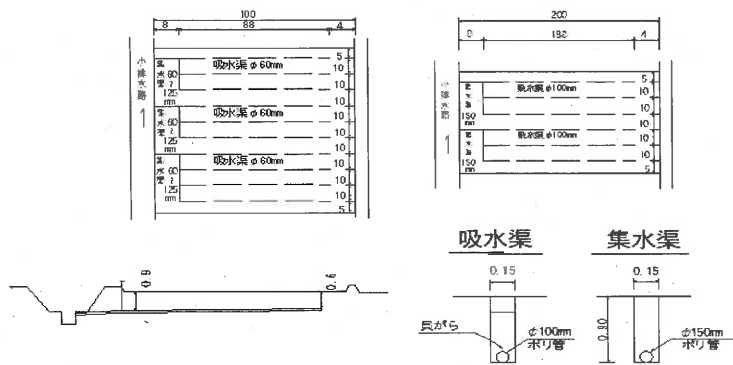
支線用水路



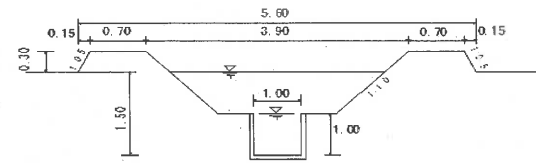
小用水路



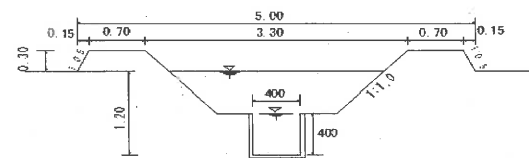
暗渠排水工



支線排水路



小排水路



第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

- 1. 貯水池 該当なし
- 2. 頭首工 該当なし
- 3. 揚水機 該当なし
- 4. 用水路

(第15表-4)

項目 水路名	かんがい 面積 (ha)	通水量 (m^3/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
			開きよ	トンネル その他	計				
支線用水路	2.3~15.9	0.227~0.748	2,244	-	2,244	コンクリート直壁型	1/400~1/3,000	分水工 2ヶ所	
小用水路	0.1~24.1	0.278~0.879	131,956	-	131,956	コンクリート直壁型	1/400~1/3,000	分水工365ヶ所	
計	1,154.6		134,200	-	134,200				

第 2 節 排水施設

- 1. 排水水門 該当なし
- 2. 排水機 該当なし
- 3. 排水路

(第16表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m^3/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
			開きよ	トンネル その他	計				
幹線排水路	2.4~236.5	0.023~2.313	12,002	-	12,002	コンクリート直壁型	1/2,200~1/15,000	合流工 - ヶ所	
支線排水路	1.4~187.9	0.013~1.805	14,550	-	14,550	コンクリート直壁型	1/800~1/5,000	合流工 33ヶ所	
小排水路	0.2~63.4	0.002~0.595	61,648	-	61,648	コンクリート直壁型	1/300~1/3,000	合流工 57ヶ所	
計	1,154.6		88,200	-	88,200				

- 4. その他排水施設 該当なし

第 3 節 道 路

1. 道路の総括表

(第17表-1)

項目 区分	路 線 名	幅(有効) (m)	延長 (m)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延 長 (m)	最 小 曲線半径 (m)	備 考
					名称	構 造	数 量 (箇所)				
地 区 内	支 道 I 型	5.0 (4.0)	127,972	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	暗渠	コンクリート 函渠	468	8	-	30	
地 区 内	支 道 II 型	4.0 (3.0)	8,028	碎石舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	暗渠	コンクリート 函渠	38	8	-	30	
計			136,000				506				

2. 道路主要構造物 該当なし

第 4 節 洪水調節施設

1. 貯 水 池 該当なし

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工 該当なし

(2) 導水路 該当なし

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(第19表-1)

工 区 名	面積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		区 画	土量(m ³)	面積(ha)	土量(m ³)	
標準区 100×100	544.7	1.0ha以上	-	544.7	817,050	若宮工区以外
標準区 200×60	212.6	1.2ha以上	-	212.6	318,900	若宮工区
標準区以下	395.0	0.3ha以上~1.0ha未満	-	395.0	592,500	
標準区以下	2.3	0.3ha未満	-	2.3	3,450	
計	1,154.6		-	1,154.6	1,731,900	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第19表-2-1)

項目 区分	面積 (ha)	集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
		勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	間隔 (m/ha)	
本暗渠	1,154.2	1/500	硬質ポリ管	φ60~ 100	90	1/500	硬質ポリ管	φ60~ 150	0.6~ 0.8	10	880	小排水路	排水溝	100	

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客土

(第19表-3)

項目 区分	面積 (ha)	土 壤 統 (区) 名	客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (Km)	運搬方法	備 考
浅耕土対策	192.9	泥炭土壌強粘土型	289,350	289,350	-	-	

4. 除 礫 該当なし

5. 農地保全

該当なし

(2) 排水路

該当なし

(3) 浸食防止工

該当なし

第 6 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

該当なし

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護施設

該当なし

(2) 漏水防止工

該当なし

第 6 章 附帯工事計画

該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着手 平成27年度

完了 令和11年度

第 8 章 環境との調和への配慮

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。また、水路内にワンドと小動物脱出スロープ（間伐材使用）を設置するなど、生態系の保全・再生を図る。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家への配分は、換地選定を機会に利用権等の集積に関する啓発普及を進め、中核的担い手農家への農地の利用集積を図るものとする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積

(第21表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
1 期 地 区	青森県北津軽郡中泊町大字田茂木	478.5
2期地区(十三湖 a 換地区)	青森県北津軽郡中泊町大字田茂木	287.3
2期地区(高根換地区)	青森県北津軽郡中泊町大字高根	65.5
2期地区(サンワ換地区)	青森県北津軽郡中泊町大字田茂木、大字豊岡、大字宮川	23.6
3期地区(十三湖 b 換地区)	青森県五所川原市十三土佐、北津軽郡中泊町大字田茂木	299.4
3期地区(土佐換地区)	青森県五所川原市十三土佐	205.2
計		1,359.5

2. 換地区を設定する理由

地区全体の面積が1,359.5haと広大であるため、換地区を設け換地処分を独立して行うことで各区ごとの条件・特質を換地計画に反映させることができるとともに、土地の権利の再編整理が容易になり事業効果を早期に発現させることができるため。

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第21表-2)

換地区名	換地の基準
全 工 区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿面積(国土調査法による地籍調査に基づく登記簿面積)とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第21表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地							機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計					
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行 地域の含める 土地(令第1条 の9()書き)			本事業によつ て生ずる 土地改良 施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途地			異 種 目 換 地	創設非農用地							合 計	国	県	市 町 村 他	合 計
						土地 改良 施設	そ の 他	小 計	改 良 区	そ の 他	小 計			宅 地	そ の 他	小 計		農 業 管 理 施 設 地	生 活 ・ 生 計 上 必 要 施 設 地	公 用 ・ 公 用 施 設 地	宅 地 等	小 計							
1期地区	従前の土地	418.5	-	-	-	43.2	-	43.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	0.2	13.6	16.8	-	478.5		
	換地	413.1	-	-	-	42.0	-	42.0	5.4	-	5.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	0.2	14.0	18.0	-	478.5		
2期地区 (十三湖a 換地区)	従前の土地	233.5	-	-	-	30.0	-	30.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23.8	23.8	-	287.3		
	換地	231.4	-	-	-	30.0	-	30.0	2.1	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23.8	23.8	-	287.3		
2期地区 (高根換 地区)	従前の土地	56.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	-	8.7	8.8	-	65.5	
	換地	53.9	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1	-	11.0	11.1	-	65.5	
2期地区 (サシワ換 地区)	従前の土地	22.0	-	-	-	0.6	-	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	-	0.9	1.0	-	23.6		
	換地	22.0	-	-	-	0.6	-	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	-	0.9	1.0	-	23.6		
3期地区 (十三湖b 換地区)	従前の土地	255.9	-	-	-	25.8	-	25.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.7	17.7	-	299.4		
	換地	254.4	-	-	-	25.7	-	25.7	1.5	-	1.5	-	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	0.1	-	17.7	17.7	-	299.4		
3期地区 (土佐換地 区)	従前の土地	181.7	-	-	-	3.5	-	3.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	16.0	20.0	-	205.2		
	換地	179.8	-	-	-	3.4	-	3.4	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	-	16.0	20.0	-	205.2		
計	従前の土地	1,168.2	-	-	-	103.1	-	103.1	-	-	-	-	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	0.1	7.2	0.2	80.7	88.1	-	1,359.5	
	換地	1,154.6	0.4	-	-	101.7	-	101.7	11.0	-	11.0	-	0.2	0.2	-	-	-	-	-	-	-	0.2	8.0	0.2	83.4	91.6	-	1,359.5	

3. 農用地集団化の方針

(第21表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い
全工区		なし	換地は各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に定める。	1~2団地	固定畦畔

4. 非農用地換地の手法

(第21表-5)

換地区名	区分	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他
2期地区		雑種地	中泊町大字高根地内	1,218	特定用途用地	従前地所有者	-

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 項目別配点方式

土地の良否、用排水の便否の項目別の条件差により設定した評価表を用い、従前の土地と換地を一筆毎に採点する。この合計得点数からその土地を等位付けし、その等位毎に価額を評定する。

2. 清算の方法 比例地積清算方式

従前の土地の評価総額と換地の価額総額との差額(増価額)を従前の土地の地積に比例して、各従前の土地に按分し、この按分額を従前の土地の価額と合計して換地交付基準額を定め、これと換地の価額との差額を徴収、交付する。

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第21表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
1 期 工 区	平成28年度～令和元年度	令和7年度	令和7年度	
2 期 地 区 (十三湖a換地区)	平成30年度～令和6年度	令和9年度	令和9年度	
2 期 地 区 (高根換地区)	平成30年度	令和5年度	令和6年度	
2 期 地 区 (サシワ換地区)	令和7年度	令和11年度	令和11年度	
3 期 地 区 (十三湖b換地区)	令和2年度～令和5年度	令和9年度	令和9年度	
3 期 地 区 (土佐換地区)	令和6年度～令和8年度	令和11年度	令和11年度	

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

本地区については、換地工区ごとに区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項ただし書きの規定に基づき、換地処分を行う。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第22表)

区 分		事 業 費 (千円)	備 考
工 事 費		21,744,000	令和4年度単価
事 務 的 経 費		1,087,200	
計		22,831,200	
関連事業 (参考)			該当なし
	計		

第 11 章 効 用

(第23表)

区 分 \ 項 目	年 総 効 果 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
作 物 生 産 効 果	1,129,853	309,134	食料の安定供給の確保に関する効果
営 農 経 費 節 減 効 果	674,943	746,052	食料の安定供給の確保に関する効果
維 持 管 理 費 節 減 効 果	△ 6,408	261,818	食料の安定供給の確保に関する効果
耕 作 放 棄 防 止 効 果	66	66	農業の持続的発展に関する効果
災 害 防 止 効 果 (農 業 関 係 資 産)	262,969	-	農業の持続的発展に関する効果
災 害 防 止 効 果 (一 般 資 産)	82,234	-	農村の振興に関する効果
景 観 ・ 環 境 保 全 効 果	27,650	-	多目的機能の発展に関する効果
国 産 農 産 物 安 定 供 給 効 果	161,060	-	その他の効果
大 規 模 地 震 対 策 に よ る 効 果	10,428	-	その他の効果
計	2,342,795	1,317,070	令和4年度単価

<参考>

総 費 用 : 49,551,572 千円
 総 便 益 額 : 61,756,619 千円
 総費用総便益比 : 1.24

第 12 章 関連する事業

異種	国 営 か ん が い 排 水 事 業 (津 軽 北 部 二 期 地 区)	国	6,207	・頭首工(改修) 1箇所、排水水門(改修) 1箇所、揚排水機場(改修) 7箇所、用水路(改修) L=21.9km、排水路(改修) L=14.6km、水管理施設(改修) 一式
----	--	---	-------	--

第 13 章 現況・計画図面

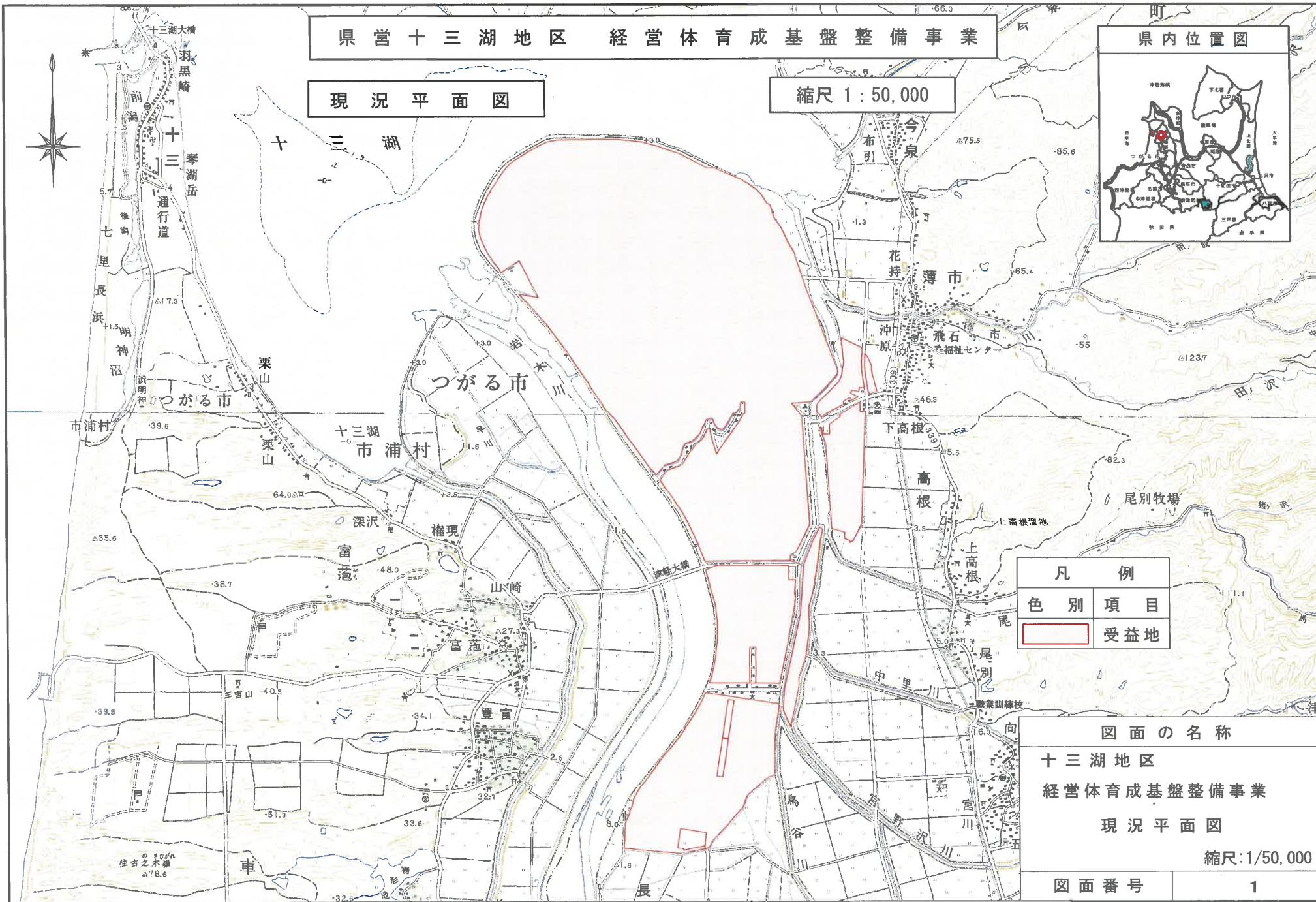
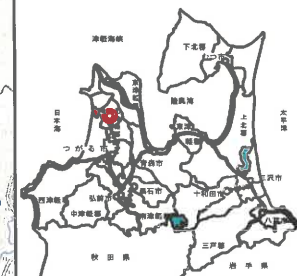
- 1. 現況平面図 別 添
- 2. 計画平面図及び土地利用計画図 "
- 3. 主要構造図 "

県営十三湖地区 経営体育成基盤整備事業

現況平面図

縮尺 1 : 50,000

県内位置図

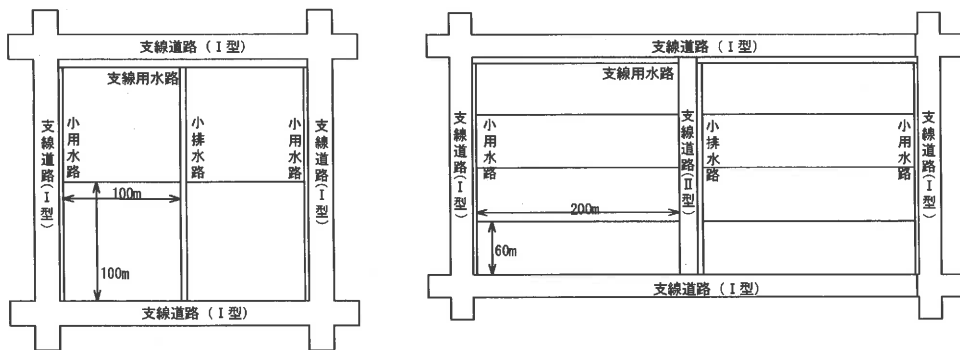


凡 例	
色 別	項 目
	受益地

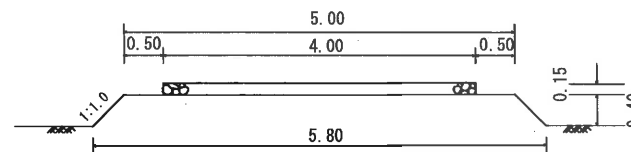
図面の名称	
十三湖地区 経営体育成基盤整備事業 現況平面図	
縮尺: 1/50,000	
図面番号	1

主要構造図 No scale

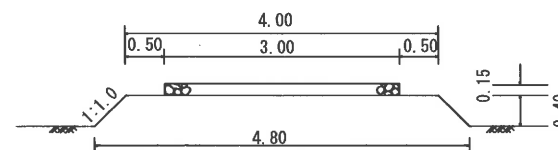
標準区画割図



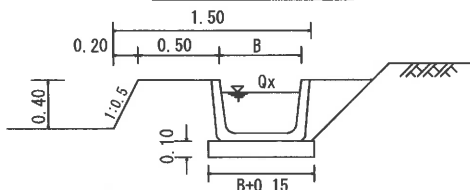
支線道路 (I型)



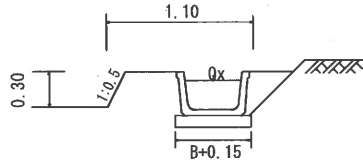
支線道路 (II型)



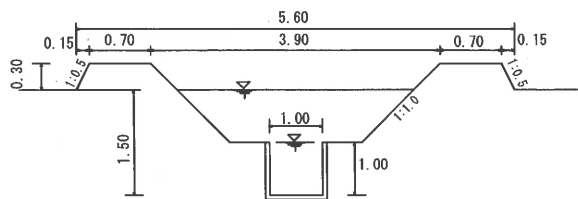
支線用水路



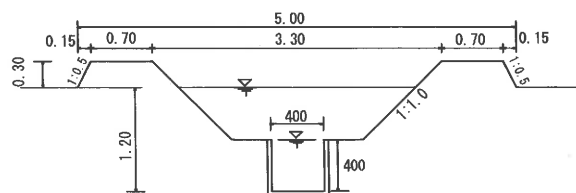
小用水路



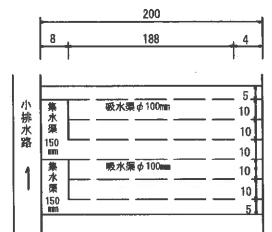
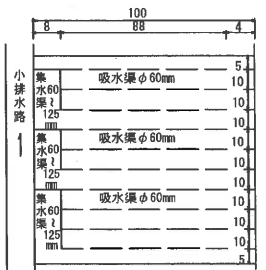
支線排水路



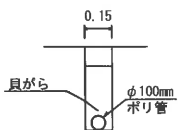
小排水路



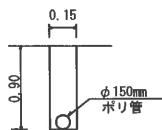
暗渠排水工



吸水渠



集水渠



図面の名称

十三湖地区

経営体育成基盤整備事業

主要構造図

縮尺: No scale

図面番号

3